

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
2022年度 第1回 高大連携委員会 議事録

日 時：2022年5月10日（水）10：00～11：30

場 所：大学コンソーシアムひょうご神戸事務局からオンライン配信

出席校：【委員長校】関西国際大学（山下、前田、志村、江副、藤原）

【副委員長校】甲南大学（茶山、今野）、神戸松蔭女子学院大学（小前）

【委員校】関西学院大学／聖和短期大学（久保田、花）、神戸大学（土本）、神戸海星女子学院大学（天野）、神戸学院大学（荒谷）、神戸親和女子大学（小山）、頌栄短期大学（内田）、園田学園女子大学／園田学園女子大学短期大学部（大河内）、姫路獨協大学（藤田）、兵庫医科大学（田中、坂口、甲谷）、兵庫県立大学（三嶋）

【大学コンソ事務局】中水

（敬称略）

欠席校：神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部

1 開会

1) 委員長・副委員長挨拶

開会にあたり、関西国際大学 山下委員長及び前田委員長代理、甲南大学 茶山副委員長、神戸松蔭女子学院大学 小前副委員長より挨拶がなされた。

2) 委員紹介

出席委員より、資料1に基づき挨拶がなされた。

2 報告事項

1) 大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）について

中水担当部長より、資料2に基づき1) 大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）について報告があった。

2) 事業委員会申し合わせについて

中水担当部長より、資料3に基づき事業委員会申し合わせについて報告があった。

3 協議事項

1) 2022年度事業計画（詳細）・予算について

前田委員長代理より、資料4-1に基づき2022年度事業計画（詳細）・予算について説明があった。

協議の結果、原案どおり承認された。

<主な意見等>

- ・中水担当部長より資料4-2に基づき、これまで実施した「ひょうご高校大学コンソーシアム」についての説明があった。
- ・今年度より、新しい学習指導要領が実施されたことにより、高校現場では総合的な探究の時間の指導に困っている状況があるので、昨年度の「ひょうご高校大学コンソーシアム」で意見交換を行った「探究学習」をテーマにした取り組みを今年度も継続できればいいと考える。
- ・高大連携において、探究学習に注目が集まっている。高校は探究活動が将来のキャリア形成につながることを期待して、大学とつながりができることを期待している状況もある。探究学習についての高大連携は結果として、高大接続にもつながり、学生募集広報ともつながりがあると考ええる。
- ・探究学習の「問いを立てる」部分でSDGsを活用している高校が多い。しかしテーマが壮

大で指導が難しい。一方で、探究学習には、「地域の問題」を解決する内容もテーマに挙げられる。コンソーシアムとして、地域の大学、地域の企業、地域の自治体と組み合わせ、探究学習について取り組むことができれば良いのではないかと。

4 連絡事項

1) 2022 年度 高大連携委員会 回答フォーマットの記入依頼について (資料5)

甲南大学 今野課長より、2022 年度 高大連携委員会 回答フォーマットの記入依頼について説明があった。各校でフォーマットに沿って回答することで、情報共有を進めることとなった。

2) 定時総会予定

中水担当部長より、定時総会が6月10日(金)10:00~11:15に開催されるとの説明があった。

5 意見交換

<主な意見等>

- ・コンソーシアムならではの合同進学説明会ができればいい。
- ・昨年、オンライン実施での合同進学説明会は、対面式の場合よりも学生が集まり、話すことができたのでよかった。
- ・広報予算もない中、集客が難しい現実もあるが、以前、京都のコンソーシアムが地方に出て、京都の大学に行こうという取り組みをされていたことがある。流出を防ぐ考え方もあるが、「兵庫の大学に来てほしい」という、県外から県内へ生徒を呼び込む流入に取り組む考え方もあるのではないかと。または「探究」のための進学相談会など、テーマを絞る相談会をすると、コンソーシアムらしい相談会になるのではないかと。
- ・コンソーシアムとして、教育委員会などに組織的にアプローチして取り組めることが個別大学ではできないコンソーシアムならではのことと考える。
- ・高等学校において「探究」で研究の基礎を学んだ生徒が大学に入学することを期待するとすれば、「探究」はコンソーシアムで取り組むキーワードになる。
- ・大学が持っている知見を高校生に説明できる「探究」への取り組みを通じて、進路の動機づけに結びつける上では、「探究」をキーワードに取り上げるのは有意義。
- ・学習指導要領が変わる中、「情報」が課せられている。大学入試の際にどのように対応しようとしているのか、高校の現場の情報も聞いてみたい。

以上